

事業番号

2023 - 府 - 22 - 0164

令和5年度行政事業レビューシート

( 内閣府 )

事業名	科学技術・イノベーション政策に係る調査等			担当部局	科学技術・イノベーション推進事務局	作成責任者	
事業開始年度	平成13年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	参事官(総括担当) 企画官(国際担当) 参事官(研究環境担当)	武田 重昌 宮澤 武志 白井 俊	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な条項も記載)	内閣府設置法(平11法89)第4条、第40条の4			関係する計画、通知等	第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月26日閣議決定) 統合イノベーション戦略2022(令和4年6月3日閣議決定)		
政策	20. 科学技術・イノベーション政策			主要経費	その他の事項経費		
施策	23. 科学技術・イノベーション基本計画の策定・推進						
政策体系・評価書URL	-						
事業の目的 (5行程度以内)	科学技術・イノベーションの情報収集活動等により総合科学技術・イノベーション会議の調査審議の適時適切な実施を図る。また総合科学技術・イノベーション会議の調査審議の成果についての情報発信力を高め、国民の理解の増進を図る。						
現状・課題 (5行程度以内)	我が国の成長戦略の柱として位置づけられる科学技術・イノベーション政策については、昨今の世界情勢等の影響からその重要性は高まり、また、その収集・調査・分析すべき対象分野や技術情報等についても年々範囲が広がっていることを踏まえ、適切に対応する必要がある。						
事業概要 (5行程度以内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>最先端で活躍する専門家から最新情報の収集、調査、分析等を行う。</li> <li>国際会議等に出席することにより海外からの最新情報の収集、調査、分析等を行う。</li> <li>国立研究開発法人制度の適切な運営のための調査・検討等を行う。</li> <li>ウェブサイト整備の経費については、令和4年度予算からデジタル庁にて一括計上。</li> </ul>						
事業概要URL	<a href="https://www8.cao.go.jp/cstp/index.html">https://www8.cao.go.jp/cstp/index.html</a> <a href="https://www8.cao.go.jp/cstp/kokusiteki/index.html">https://www8.cao.go.jp/cstp/kokusiteki/index.html</a> <a href="https://www8.cao.go.jp/cstp/kenkyu/index.html">https://www8.cao.go.jp/cstp/kenkyu/index.html</a>						
実施方法	直接実施、委託・請負						
補助率等	-						
予算額・執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の状況	当初予算(A)	25.5	25.5	23.1	24.2	24.2
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
	予備費等(E)	-	-	-	-	-	
計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	25.5	25.5	23.1	24.2	24.2		
執行額(G)	16.1	13.7	18.1				
執行率(%) =(G)/(F)	63%	54%	78%				
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	63%	54%	78%				
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	科学技術・イノベーション推進事務局					
	(目)	職員旅費	7.7	7.7			
	(目)	科学技術基礎調査等委託費	7.6	7.6			
	(目)	委員等旅費	5.0	5.0			
	(目)	庁費	3.6	3.6			
	(目)	諸謝金	0.3	0.3			
		その他					
	計(A)	24.2	24.2				

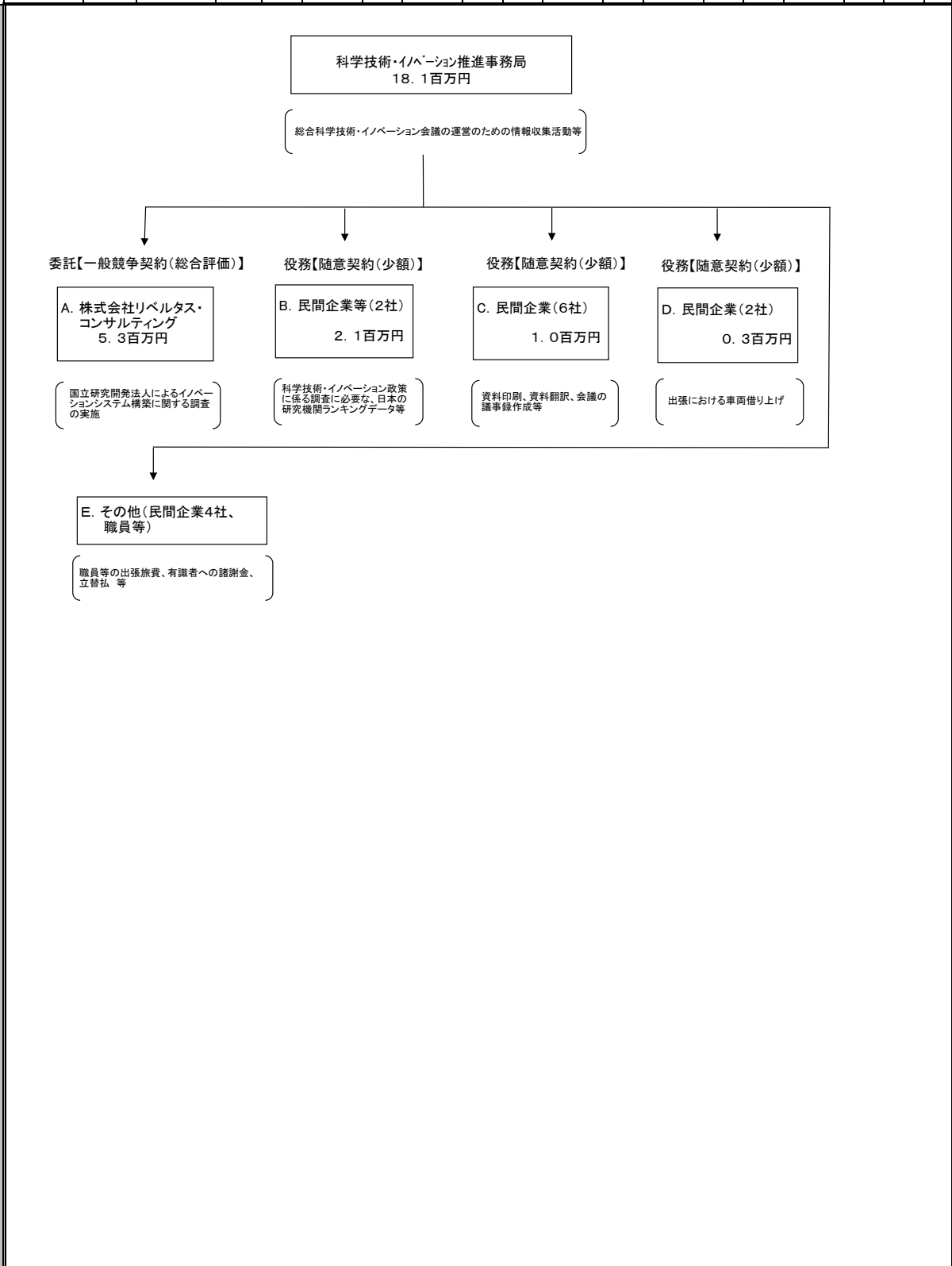
<b>活動内容①</b> (アクティビティ)	科学技術の総合的かつ計画的な振興に向けた基本政策の立案に資する情報収集や調査を行うとともに、施策の検討過程や決定内容を積極的に情報発信する。																													
↓																														
<b>活動目標及び活動実績①</b> (アウトプット)	<b>活動目標</b> 国内実地調査を通じ、最先端で活躍する専門家から最新情報を調査・収集して分析し、総合科学技術・イノベーション会議の調査審議の適時適切な実施を図る。	<b>活動指標</b> 国内実地調査による情報収集等	<table border="1"> <tr> <td>活動実績</td> <td>回</td> <td>71</td> <td>58</td> <td>97</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>当初見込み</td> <td>回</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </table>	活動実績	回	71	58	97	-	-	当初見込み	回	100	100	100	100	100	<b>単位</b>	<b>令和2年度</b>	<b>令和3年度</b>	<b>令和4年度</b>	<b>5年度 活動見込</b>	<b>6年度 活動見込</b>							
活動実績	回	71	58	97	-	-																								
当初見込み	回	100	100	100	100	100																								
<b>成果目標①-1の 設定理由</b> (アウトプットからのつながり)	最先端で活躍する専門家から最新情報を調査・収集して分析し、総合科学技術・イノベーション会議の調査審議の適時適切な実施を図る。																													
<b>成果目標及び成果実績①-1</b> (短期アウトカム)	<b>成果目標</b> 総合科学技術・イノベーション会議を開催し、科学技術の総合的かつ計画的な振興を図るための基本的な政策等を調査審議する。	<b>定量的な成果指標</b> 総合科学技術・イノベーション会議実施回数	<table border="1"> <tr> <td>成果実績</td> <td>回</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>8</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>回</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td colspan="2">4</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td>100</td> <td>175</td> <td>200</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>	成果実績	回	4	7	8			目標値	回	4	4	4	4		達成度	%	100	175	200			<b>単位</b>	<b>令和2年度</b>	<b>令和3年度</b>	<b>令和4年度</b>	<b>目標年度 5年度</b>	<b>年度</b>
成果実績	回	4	7	8																										
目標値	回	4	4	4	4																									
達成度	%	100	175	200																										
<b>成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績</b>	総合科学技術・イノベーション会議の開催回数																													
<b>成果目標①-2の 設定理由</b> (短期アウトカムからのつながり)	限りある予算を有効活用して国内実地調査を行い、総合科学技術・イノベーション会議の調査審議を適時適切に実施することにより、国民に支持され、興味関心を持たれる科学技術・イノベーション政策を展開する。そして国民に興味関心を持たれているかどうかを総合科学技術・イノベーション会議Webサイトへのアクセス件数で測定する。																													
<b>成果目標及び成果実績①-2</b> (中期アウトカム)	<b>成果目標</b> -	<b>定量的な成果指標</b> -	<table border="1"> <tr> <td>成果実績</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>	成果実績		-	-	-			目標値		-	-	-			達成度	%	-	-	-			<b>単位</b>	<b>令和2年度</b>	<b>令和3年度</b>	<b>令和4年度</b>	<b>目標年度 年度</b>	<b>年度</b>
成果実績		-	-	-																										
目標値		-	-	-																										
達成度	%	-	-	-																										
<b>成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績</b>	-																													
<b>成果目標①-3の 設定理由</b> (長期アウトカムへのつながり)	-																													
<b>成果目標及び成果実績①-3</b> (長期アウトカム)	<b>成果目標</b> 国民に支持される科学技術・イノベーション政策を推進する。成果目標として総合科学技術・イノベーション会議Webサイトへのアクセス件数を対前年度1%程度増加させる。	<b>定量的な成果指標</b> 総合科学技術・イノベーション会議(科学技術・イノベーション推進事務局)webサイトへのアクセス件数(Webサイトを訪れた重複のないユーザー数)	<table border="1"> <tr> <td>成果実績</td> <td>件</td> <td>4,359,836</td> <td>4,501,699</td> <td>4,324,993</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>件</td> <td>2,684,353</td> <td>4,403,434</td> <td>4,546,716</td> <td colspan="2">4,368,243</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td>162.4</td> <td>102.2</td> <td>95.1</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>	成果実績	件	4,359,836	4,501,699	4,324,993			目標値	件	2,684,353	4,403,434	4,546,716	4,368,243		達成度	%	162.4	102.2	95.1			<b>単位</b>	<b>令和2年度</b>	<b>令和3年度</b>	<b>令和4年度</b>	<b>目標最終年度 5年度</b>	<b>年度</b>
成果実績	件	4,359,836	4,501,699	4,324,993																										
目標値	件	2,684,353	4,403,434	4,546,716	4,368,243																									
達成度	%	162.4	102.2	95.1																										
<b>成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績</b>	総合科学技術・イノベーション会議(科学技術・イノベーション推進事務局)webサイトへのアクセス件数(Webサイトを訪れた重複のないユーザー数) (出典:内閣府科学技術・イノベーション推進事務局調べ)																													
<b>アウトカム設定について の説明</b>	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由																													
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由																													

活動内容② (アクティビティ)	主要国の科学技術担当大臣又は科学顧問の意見交換の場である「カーネギーグループ会合」は、年1回メンバー国の持ち回りで開催されており、議員等を派遣している。また、ライフサイエンス及びグローバルサイエンスについて科学者として意見交換するための「国際研究機関代表者会合」にCSTI議員を派遣している。このほか、「二国間科学技術協力合同委員会」において国際科学技術政策や国際協力プロジェクトを推進するため、議員等を派遣する。								
↓									
活動目標及び活動実績② (アウトプット)	活動目標	活動指標	活動実績 当初見込み	単位 回	令和2年度 5	令和3年度 7	令和4年度 9	5年度 活動見込 -	6年度 活動見込 -
	国際会議等の場において情報収集・発信を行う。	国際会議等の場における情報収集・発信	回	回	6	6	6	6	6
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	国際科学技術政策や国際協力プロジェクト等の推進にあたっては、「二国間科学技術協力合同委員会」等の開催を通じて明らかになった各分野における科学技術に関する最新情報等について、相手国との共通課題の認識を図ることが重要であるところ、これらを定量的に計る短期アウトカムとして、「会合等を通じて明らかになった科学技術に関する課題の分野数」を設定。							
成果目標及び成果実績②-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標	成果実績 目標値 達成度	単位 件 件 %	令和2年度 14 15 93.3	令和3年度 28 15 186.7	令和4年度 36 15 240	目標年度 - 15 -	年度
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	当該年度に出席した二国会合等で議論された科学技術に関する分野の数								
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	二国会合等を通じた科学技術・イノベーションの国際的な最新情報の収集、調査、分析等を踏まえ、総合科学技術・イノベーション会議を開催し、科学技術の総合的かつ計画的な振興を図るための基本的な政策等の調査審議を実施することから、中期アウトカムとして、「総合科学技術・イノベーション会議実施回数」を設定する。							
成果目標及び成果実績②-2 (中期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標	成果実績 目標値 達成度	単位 回 回 %	令和2年度 4 4 100	令和3年度 7 4 175	令和4年度 8 4 200	目標年度 5 4 -	年度
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	総合科学技術・イノベーション会議の開催回数								
↓	成果目標②-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	限りある予算を有効活用して国際会議等に出席することにより、海外からの最新情報の収集、調査、分析等を行い、総合科学技術・イノベーション会議の調査審議を適時適切に実施することにより、国民に支持され、興味関心を持たれる科学技術・イノベーション政策を展開する。そして国民に興味関心を持たれているかどうかを総合科学技術・イノベーション会議Webサイトへのアクセス件数で測定する。							
成果目標及び成果実績②-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標	成果実績 目標値 達成度	単位 件 件 %	令和2年度 4,359,836 2,684,353 162.4	令和3年度 4,501,699 4,403,434 102.2	令和4年度 4,324,993 4,546,716 95.1	目標最終年度 5 4,368,243 -	年度
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	総合科学技術・イノベーション会議(科学技術・イノベーション推進事務局)webサイトへのアクセス件数(Webサイトを訪れた重複のないユーザー数 (出典:内閣府科学技術・イノベーション推進事務局調べ)								
アウトカム設定について の説明	アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
	アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								

<b>活動内容③ (アクティビティ)</b>		研究開発成果の最大化に貢献するため、総合科学技術・イノベーション会議において国立研究開発法人の研究開発業務に係る目標設定や業績評価の実態及びその在り方についての検討等を行うとともに、特定国立研究開発法人制度の適切な運用のため、研究開発法人に係る現地調査及び海外動向調査等を継続的に実施する。								
↓										
<b>活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)</b>		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		調査等をもとに会議を開催しイノベーション・エコシステムにおいて国研が果たすべき役割や課題について検討する。	「国立研究開発法人イノベーション戦略会議」の開催実績	活動実績	回	1	1	1	-	-
				当初見込み	回	1	1	1	1	-
↓		成果目標③-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)								
		「国立研究開発法人イノベーション戦略会議」の開催を通じて、オールジャパンかつグローバルな研究開発体制でのイノベーションの推進に係る戦略の検討を行うのみならず、国立研究開発法人関係者問わず、幅広い国研の取り組みに関する情報発信や周知議論の場とすることが重要であるため、聴講申込者数による測定を行う。								
<b>成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)</b>		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		調査等をもとに会議を開催し情報発信を行う。	聴講申込者数	成果実績	人	519	419	513	-	
				目標値	人	500	500	500	500	
				達成度	%	103.8	83.8	102.6	-	
<b>成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績</b>		『国立研究開発法人イノベーション戦略会議 国研によるオープンイノベーションの取り組み ～国研研究者のチャレンジに向けて～ 会議開催報告書(2023年2月)』 (出典:令和4年度科学技術基礎調査等委託報告書)								
↓		成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)								
		「国立研究開発法人イノベーション戦略会議」を開催し、オールジャパンかつグローバルな研究開発体制でのイノベーションの推進に係る戦略の検討等を通じて、社会のニーズを原動力として課題の解決に挑むスタートアップを次々と生み出し、企業、大学、公的研究機関等が多様性を確保しつつ相互に連携して価値を共創する新たな産業基盤が構築された社会を目指すため、研究開発法人における企業からの共同研究費受入額を中期アウトカムとした。								
<b>成果目標及び成果実績 ③-2 (中期アウトカム)</b>		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
		-	-	成果実績		-	-	-	-	
				目標値		-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
<b>成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績</b>		-								
↓		成果目標③-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)								
<b>成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)</b>		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7 年度	
		研究開発法人における企業からの共同研究費受入額について2018年度(199億円)比で、約7割増加を目指す。	研究開発法人における企業からの共同研究費受入額	成果実績	億円	215	176	-	-	
				目標値	億円	-	-	-	338	
				達成度	%	-	-	-	-	
<b>成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績</b>		「研究開発法人における企業からの共同研究費受入額」(出典:e-CSTIデータ)								
<b>アウトカム設定について の説明</b>		アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由								



**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
 (単位: 百万円)



**費目・使途**  
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			B.		
費目	使途	金額(百万円)	費目	使途	金額(百万円)
人件費	国立研究開発法人によるイノベーションシステム構築に関する調査の実施	3.3	雑役務費	科学技術・イノベーション政策に係る調査に必要な、日本の研究機関ランキングデータ等	1.6
その他の経費	当該調査の実施に係る会議開催経費等	1.5			
一般管理費		0.5			
計		5.3	計		1.6
E.			F.		
費目	使途	金額(百万円)	費目	使途	金額(百万円)
職員旅費	株式会社エヌオーイー	18			
計		18	計		

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社リベルタス・コンサルティング	4010401058533	国立研究開発法人によるイノベーションシステム構築に関する調査	5.3	一般競争契約 (総合評価)	1	-	-

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	クラリベイト・アナリティクス・ジャパン株式会社	3010001024705	科学技術・イノベーション政策に係る調査に必要な、日本の研究機関ランキングデータ等	1.6	随意契約 (少額)	-	-	-
2	株式会社じほう	8010001031283	著作物のWeb利用料	0.5	随意契約 (少額)	-	-	-

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	シンソー印刷株式会社	2011101036302	印刷製本業務	0.4	随意契約 (少額)	-	-	-
2	K'sインターナショナル株式会社	3140001098125	翻訳業務	0.3	随意契約 (少額)	-	-	-
3	個人A	-	通訳業務	0.2	随意契約 (少額)	-	-	-
4	株式会社五月商会	4013301005010	印刷製本業務	0.1	随意契約 (少額)	-	-	-
5	株式会社社会議録研究所	6011101004370	速記・議事録作成業務	0	随意契約 (少額)	-	-	-
6	一般財団法人工業所有権電子情報化センター	5010005016746	商標登録業務	0	随意契約 (少額)	-	-	-
7	株式会社オオニシ	9010401049197	公用旅券、米国査証に係る証明写真撮影業務	0	随意契約 (少額)	-	-	-

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	Katas,Inc.	-	海外出張に係る車両借り上げ	0.2	随意契約 (少額)	-	-	-
2	北都交通株式会社	9430001033740	国内出張に係る車両借り上げ	0.1	随意契約 (少額)	-	-	-

E

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社エヌオーイー	8010001129037	会議出席旅費	1.8	その他	-	-	-
2	株式会社霞が関トラベル	6010001013886	会議出席旅費	1.8	その他	-	-	-
3	株式会社阪急阪神ビジネスラベル	4120001126778	会議出席旅費	1.3	その他	-	-	-
4	東武トップツアーズ株式会社	4013201004021	会議出席旅費	0.4	その他	-	-	-
5	個人B	-	会議出席旅費	0.3	その他	-	-	-
6	個人C	-	会議出席旅費	0.3	その他	-	-	-
7	個人D	-	会議出席旅費	0.2	その他	-	-	-
8	個人E	-	会議出席旅費	0.2	その他	-	-	-
9	個人F	-	会議出席旅費	0.2	その他	-	-	-
10	個人G	-	会議出席旅費	0.2	その他	-	-	-